



報道関係各位

2014年5月13日
ダノンジャパン株式会社

ダノンジャパン、物流拠点を館林工場隣接地に集約

ダノンジャパン株式会社(本社:東京都目黒区)は、日本でのヨーグルト需要の拡大に対応するため、2013年より2022年までに、ダノンジャパンの国内唯一の生産拠点である館林工場(群馬県館林市)において施設の増設・新設によって、生産能力を2倍に拡大する計画を進めています。その計画の一環として、館林工場に隣接する土地への物流センターの誘致が決定し、建設の運びとなりました。

冷蔵設備を備えた物流施設として北関東有数の規模となる同センターは、ダノンジャパンが2013年に取得した館林工場に隣接する土地72,000m²のうち、26,300m²を大和ハウス工業株式会社(以下、大和ハウス)に売却し、大和ハウスによって建設されます。2014年6月に着工、完成・稼働開始は2015年2月を予定しています。



館林物流センター完成予想図

また、同センターは、株式会社日立物流(以下、日立物流)が運営します。日立物流は、ダノンジャパンより物流関連業務を受託し、全国各地の弊社の配送拠点(ディストリビューションセンター)への出荷、関東圏の顧客への配送、原材料および包装材の受領・保管・工場への出荷業務などを行います。現在、こうした業務は、群馬県伊勢崎市内や館林市内の複数の倉庫への委託や館林工場内での保管によって対応しており、同センターが配送・保管拠点として稼働することによって、輸送時間の短縮や業務効率の向上、輸送距離の短縮による環境負荷の軽減を実現します。

■ ヤクルトとの共同利用

また、株式会社ヤクルト本社も同センターの共同利用者として、全体のおよそ25%相当(ダノンジャパン75%)を2015年4月より利用します。

ダノンとヤクルトはグローバルに、プロバイオティクスに関する普及および広報・研究活動、インドやベトナムでの合弁会社の運営といった協業を行っています。今回の物流センターの共同利用もそうした協業の一環であり、日本では初めての取り組みです。

■ 生産拡大計画の進捗

2013年に発表したダノンジャパンの生産能力拡大計画は、順調に進捗しています。2013年からこれまでに工場内の生産ラインは8本から9本に増設され、生産能力が13%向上しました。2016年までにもう2本増設し、2013年比で約50%の生産能力増を達成する予定です。さらに、2015年後半には、研究開発施設であるヨーグルト・イノベーション・センターおよび一般見学者向けのビジターセンターを開設予定です。

また、計画第 2 期にあたる 2017 年～2022 年には、現工場および物流センターに隣接する新たな工場を建設し、生産ラインを 6 本設置、既存工場とあわせて、2013 年比 2 倍の生産能力を実現します。

ダノンジャパンの代表取締役社長のジョージ・ザリフィは次のように述べています。「ダノンジャパンの生産能力拡大計画は順調に進捗しています。日本の一人当たりのヨーグルト消費量は、ここ数年急速に増えていますが、欧米諸国に比べるとまだ半分にも満たない水準です。栄養価の高い、健康的な食品として、ヨーグルトの市場はさらに拡大するものと見て、日本のお客様の好みに応じた新製品を積極的に投下するなど、事業拡大を図っています」

ダノンジャパンについて www.danone.co.jp

ダノンジャパンは、30 年以上にわたり、日本の消費者の皆様に栄養価のあるチルド乳製品をお届けしています。今日では、「ダノンビオ」、「ダノンデンシア」、「ダノンヨーグルト」、「プチダノン」、「ベビーダノン」、「キッズダノン」の製品を取り揃え、おいしさだけでなく、ヘルシーな食品をお届けしています。

<ロジスティクスセンター概要(予定)>

名称	館林物流センター
所有者	大和ハウス工業株式会社
借主 / 運営者	株式会社日立物流
所在地	群馬県館林市下早川田町 110 番 8
敷地面積	約 26,300m ² ※駐車場等含む
延床面積	約 14,800m ² ※事務所含む
建物仕様	準耐火構造地上 2 階建て
温度帯	常温、チルド
トラックドック数	大型 12 中型 19
その他設備	非常用自家発電装置

<ダノン館林工場 概要>

設立年	2002 年 11 月
住所	群馬県館林市下早川田町 366-1
工場設備面積 / 敷地総面積	1.2 ヘクタール(12,000m ²) / 2.8 ヘクタール(28,000m ²)
工場責任者	パスカル・ベルナール (インダストリアル ディレクター)
従業員数	約 190 人
業務内容	発酵乳製品(ヨーグルト)の製造
生産ライン	9 本
稼働	24 時間、365 日操業
認証	ISO22000(食品安全)、ISO14001(環境)、FSSC22000(食品安全)